

リモコン&タイマースターター
オート&マニュアルターボタイマー

BeTime A-02

取扱説明書／保証書

このたびは、「BeTime A-02」をお買い上げ
いただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの
うえ、正しくお使いください。なお、お読みにな
られたあとも、いつでも見られる場所に大切に
保管してください。

COMTEC

目次

●主な特長	1
●使用上の注意	2
●各部の名称	3
●リモコンについて	
・ご使用にあたって	5
・IDコードの入力方法	6
・電池の交換について	7
・紛失または破損した場合	8
●確認について	
・エンストポジションボリュームの確認	9
・リモコン操作での確認	10
・セルタイムボリュームの確認	12
・安全機能の確認	13
●設定について	
・時計の設定方法	15
・タイマー予約の設定方法	16
・アイドリング時間の設定方法	17
・ターボタイマー(マニュアルモード)の設定方法	18
●オートターボタイマーについて	
・オートターボタイマーとは	19
・設定方法と確認	20
・定数の変更方法	21
●運転する時は	22
●故障かな?と思ったら	23
●配線システム図	25
●仕様	26
●保証書	

主な特長

■誤作動防止のダブルスイッチ方式

リモコンの操作スイッチを2回押すことにより電波が送信されますので、ポケットやカバンの中からの誤送信やうっかりスイッチを押してしまった時のエンジン始動を防止します。

■安心の特定小電力タイプ

本機は、RCR 標準規格テレコントロール用無線設備適合証明を取得していますので、安心してご使用いただけます。

■アイドリング時間の変更ができるウォームモード機能

使用条件にあわせて、リモコンでエンジンを始動した時のアイドリング時間を、0秒～59分59秒まで任意で設定できます。

※初期設定の時間は15分です。

■予約した時刻にエンジンを始動できるタイマー機能

最大1日2つの時間を設定することにより、その時刻にエンジンを始動することができます。

■走行状態にあわせたオートターボタイマー機能

走行状態の変化にあわせ、最適なアフターアイドリング時間を表示します。

■アイドリング時間を任意で設定できるマニュアルターボタイマー機能

アフターアイドリング時間を、0秒～59分59秒まで設定できます。

■セルの時間を調整できるセルタイム機能

セルが回る時間を、0.5秒～2.5秒までボリュームで調整できます。

■エンジン始動検出が適確にできるエンストポジション機能

車種別に異なるエンジン始動検出信号を、ボリュームで調整します。

■エンジン始動をホーンで知らせるホーン機能（オプション）

※別売の「ホーンリレー」を接続しないと機能しません。

■万が一に備えた安全機能

(1) 異常電圧保護回路

車の電圧が極端に低下し、万一本機が誤作動した場合「異常電圧保護回路」が働き、リセット状態になります。

(2) セルモーター誤作動防止回路

本機でエンジンを始動した際、万セルが回りっぱなしになった場合、「セルモーター誤作動防止回路」が働き、セルを停止させます。

(3) キースイッチ優先回路

本機作動時のアイドリング中、イグニッションキーをONの位置にするだけで走行可能になりますので、リモコンで停止させ再度キー操作で始動させるという作業はいりません。

※イグニッションキーをSTART まで回すと、セルが引きずりますので必ずONの位置で止めてください。

(4) ATシフトストップ回路

本機作動時のアイドリング中、ATシフトレバーをパーキングP（もしくはニュートラルN）から他のポジションへ移動した場合、エンジンが停止します。

(5) フットブレーキストップ回路

本機作動時のアイドリング中、フットブレーキを踏むとエンジンが停止します。

※(4)、(5)はどちらか選択になります。

(6) ボンネットセンサー回路（オプション）

ボンネットセンサーを取付けることにより、ボンネットを開けると本機の電源をOFF します。

使用上の注意



危険

事故・火災などの危険性がある、下記の状態や場所での使用はしないでください。

- 公道や公共の駐車場で使用は道路交通法違反となります。必ず私有地でご使用ください。
- 排気ガス中毒の危険性がある換気の悪い庫車や屋内での使用はしないでください。
- ボディカバーを掛けたままの使用はしないでください。
- 火災の危険性がある、燃えやすい物の近くでは使用しないでください。
- 暴走事故を防止するため、イグニッションキーをOFFにする時はATシフトをパーキング（P）に入れ、パーキングブレーキを確実にかけてから行ってください。
特に、日産AT車でキーロックリレーアダプターを装着した車は、パーキング（P）以外でもイグニッションキーを抜くことができるため、必ず守ってください。
- 暖気運転の直後にエンジン点検等を行うと、火傷をする恐れがありますので、エンジンルーム内を十分に冷ましてから行ってください。
- お子様やペットを車に乗せたままでは、絶対に使用しないでください。
- リモコンはお子様の手の届かない場所に大切に保管してください。



注意

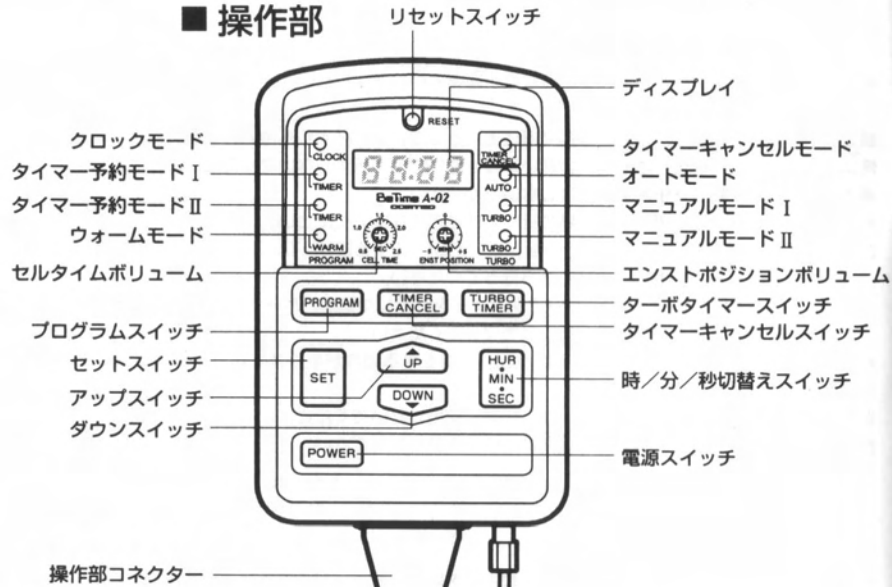
車の故障又は本機使用中、機能面に支障を起こす可能性がある下記の使用は注意してください。

- 本製品は日本国内のみ使用できます。海外では使用しないでください。
- 本機作動時のアイドリング中、イグニッションキーをSTART まで回すとセルモーターが故障する恐れがありますので、必ずONの位置で止めてください。
- リモコンのケースやアンテナを手で包み込むと電波の飛距離が短くなります。
- リモコン裏面の技術基準適合証明ラベルは、はがさないでください。
- リモコンを分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。
- ターボタイマー（スターター含む）や盗難防止機との併用取付けはできません。
- キーレスエントリーシステムまたはワイヤレスドアロックシステムは、リモコンでエンジンを停止してからご使用ください。
- オートライトコントロールシステムは、降車時にスイッチをOFF にしてからイグニッションキーを抜いてください。

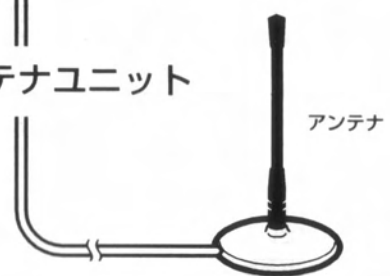
キー操作でのアイドリング中に、操作部のパワースイッチをON又はOFFにすると、アイドリングの回転数が低くなったり、エンジンが停止したりする車種が一部あります。このような場合は、オプションBe-961「リレー瞬断防止アダプター」を取り付けて下さい。

各部の名称

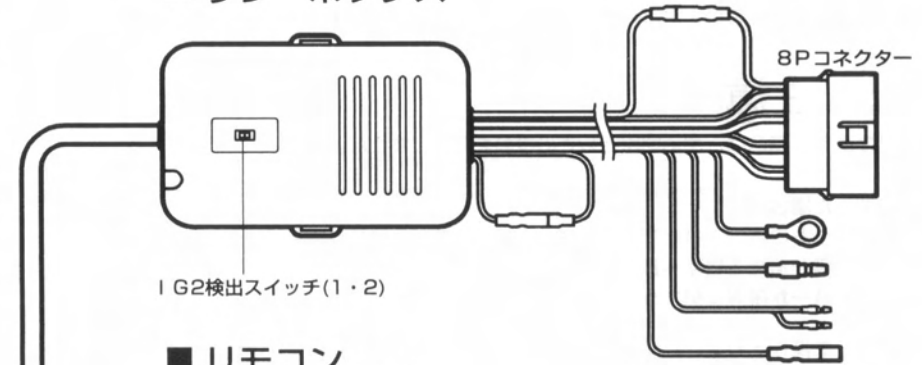
■ 操作部



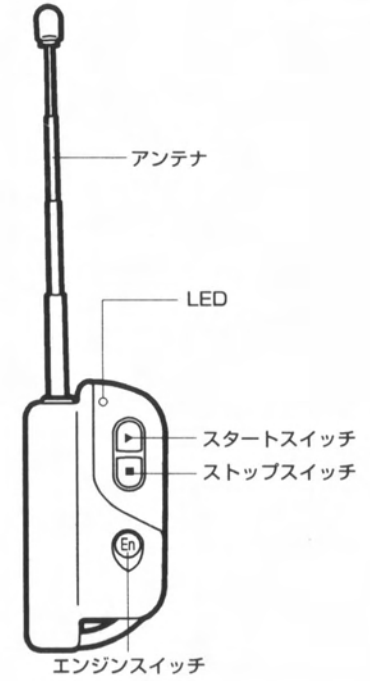
■ アンテナユニット



■ リレーボックス



■ リモコン



リモコンについて

■ご使用にあたって

リモコンのケースは、日常生活防水、抗菌仕様が施されています。したがって雨や水滴などがかかったり、雪の上などに落としたりしても安心してご使用いただけます。

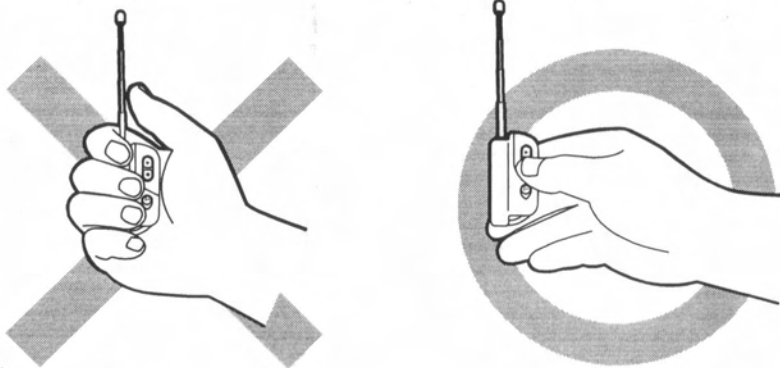
⚠ 注意

下記のような場合は、生活防水としての役割を果たしません。

- ・水没した場合。
(ポケットの中に入れたままの洗濯、水が溜っている場所への落下)
- ・雨水や雪が当たる場所へ長時間放置した場合。
- ・電池カバーが確実に閉まっていない場合。

リモコンを操作する時は、電波の送受信の安定性を確保するために、下記のように操作してください。

- ケースやアンテナを、手で包み込まないよう操作してください。
- リモコンは垂直に立てて操作してください。
- アンテナは十分に伸ばして使用してください。



⚠ 注意

- ・リモコンで操作できる距離が短くなったら、早めに新しい電池と交換してください。
- ・指定の電池 (CR2016) 以外は使用しないでください。
- ・電池寿命の目安は、1日2回の操作で約1年です。

※使用する条件によって異なります。

リモコンについて

■IDコードの入力方法

IDコードの入力とは？

リモコン個々に違うIDコードを持たせ、本機の操作部に入力させ記憶させることにより、他のリモコンや他の電波による誤作動を防止します。

⚠ 注意

- IDコードの入力を行わないと、本機の電源がはいりません。
- バッテリー交換等をした場合は、必ずIDコードの入力を行ってください。

IDコードの入力をする前に

⚠ 注意

周辺に下記の項目がある場合は、電源を切るか場所を移動してください。

- セキュリティシステム (盗難防止装置)
- アマチュア無線
- 携帯電話、PHS
- その他強い電波のある場所
- テレビ、ラジオ等

<p>1 ATシフトレバーをパーキングPにして、イグニッションキーを抜きます。</p>	<p>2 付属のボリューム用ドライバーで、リセットスイッチを押して離します。</p>	<p>3 ディスプレイに「8888」が点灯し、消灯するか確認します。</p>	<p>4 リモコンのアンテナを十分に伸ばします。</p>
<p>5 エンジンスイッチをLEDが点滅するまで押します。</p>	<p>6 LEDが点滅中にスタートスイッチを押します。 *LEDが点滅から、点灯に変わり電波が送信されます。</p>	<p>7 ディスプレイに「good」が点灯し、消灯すれば入力終了です。</p>	

リモコンについて

■電池の交換について

電池の交換は、右図の手順にしたがって+、-の向きをまちがえないよういれてください。

1. 電池カバーをコインで開けます。



2. 新しい電池 (CR2016) を、2個とも+を上にして入れます。



3. 電池カバーをコインで閉めます。
※電池カバーを確実に閉めないで、生活防水としての役割を果たさない場合があります。



■紛失または破損した場合

万ーリモコンを紛失または破損した場合、操作部、リレーボックスを交換することなく、新しいリモコンのIDコードを入力することにより引き続きご使用いただけます。

- 新しいリモコンは販売店にてご注文ください。

標準小売価格 ¥15,000 (税別)

確認について


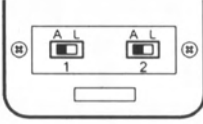

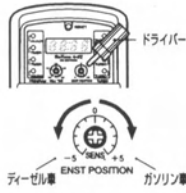

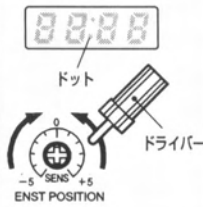


■エンストポジションボリュームの確認

エンストポジションボリュームとは？

エンジン始動及びオートターボタイマーの検出信号が、車から発生する電源ノイズの影響を受け各車ばらつきがある為、最適な検出ポイントへ調整するボリュームです。

エンストポジションボリュームの調整方法

- ガソリン車は、+側（右回り）へ回してください。
- ディーゼル車は、-側（左回り）へ回してください。

<p>1 ATシフトレバーをパーキング P にして、イグニッションキーを抜きます。</p> 	<p>2 操作部裏の検出信号切替スイッチの1、2ともAにします。</p> 	<p>3 イグニッションキーを差し込み、ONまで回します。 ※エンジンは始動せず、メーターパネルに警告灯が点灯している状態。</p> 	<p>4 エンストポジションボリュームをボリューム用ドライバーで+5（または-5）へ回します。</p> 
<p>5 ディスプレイのドットが点灯するか確認します。点灯しない場合は+5（-5）のままにして下さい。</p> 	<p>6 エンストポジションボリュームをドットが消灯するまで、0方向へ回します。</p> 	<p>7 イグニッションキーでエンジンを始動します。</p> 	<p>8 ディスプレイのドットが点灯すれば終了です。</p> 

⚠ 注意

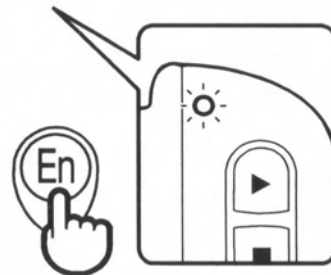
- 調整がうまくいかない場合は、L端子配線の接続を行ってください。
 - L端子配線の接続を行った場合の調整方法は、以下のようにしてください。
- 2** 検出信号切替スイッチの1、2ともLにします。**1**、**3**～**8** は上記と同じです。

■リモコン操作での確認

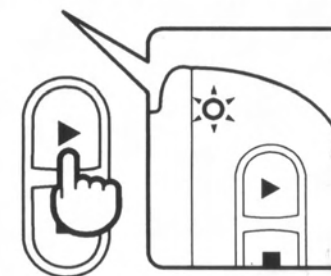
リモコンでエンジンを始動させる
リモコンを操作するときは、アンテナを十分に伸ばしてください。



1. エンジンスイッチをLED が点滅するまで押します。

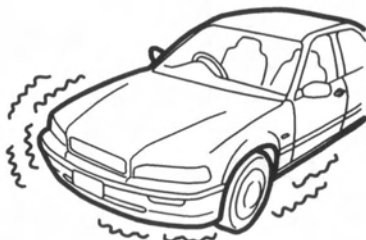


2. LED が点滅中に、スタートスイッチを押します。



※LED が点滅から、点灯に変わり電波が送信されます。

3. 車の電源が入り、約5秒後にエンジンを始動させます。



- リトライ機能
リモコンでエンジンを1回目で始動できなかった場合、自動で最大2回まで再始動を行います。

■リモコンでエンジンを停止させる

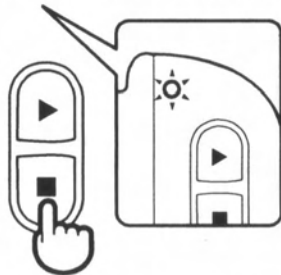
リモコンを操作するときは、アンテナを十分に伸ばしてください。



1. エンジンスイッチをLED が点滅するまで押します。



2. LED が点滅中に、ストップスイッチを押します。



※LED が点滅から、点灯に変わり電波が送信されます。

3. エンジンが停止します。



※車から発生するノイズの影響で、エンジンを始動させる時に比べ停止させる時の方が通信距離が短くなる場合があります。

■セルタイムボリュームの確認

セルタイムボリュームとは？

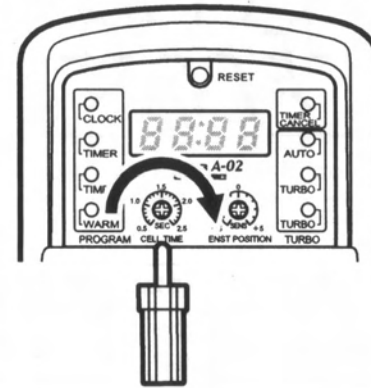
リモコンでエンジンを始動した際、セルが回る時間を0.5 秒～2.5 秒の範囲内で適切な時間に調整するボリュームです。

セルタイムボリュームの調整方法

- 1 リモコンでエンジンを始動します。
- 2 下図にしたがって調整します。

※セルの回る時間が短い場合

ボリューム用ドライバーで右方向へ回し調整します。



※セルの回る時間が長い場合

ボリューム用ドライバーで左方向へ回し調整します。



確認について

■安全機能の確認

1. ATシフトストップ回路の確認

1 ATシフトレバーをパーキング [P] にして、パーキングブレーキをかけます。



2 リモコンでエンジンを始動します。



3 フットブレーキを踏み、ATシフトレバーをパーキング [P] (もしくはニュートラル [N]) 以外のポジションへ移動します。

P・N以外



4 エンジンが停止して、ディスプレイが「Err-」表示になれば正常です。



※ターボタイマー作動中でも確認できます。

※エンジンが停止しない場合は、フットブレーキ配線の接続を行ってください。

2. フットブレーキストップ回路の確認

1 ATシフトレバーをパーキング [P] にして、パーキングブレーキをかけます。



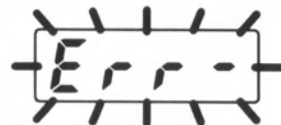
2 リモコンでエンジンを始動します。



3 フットブレーキを踏みます。



4 エンジンが停止して、ディスプレイが「Err-」表示になれば正常です。



※ターボタイマー作動中でも確認できます。

※1. と2. はどちらか選択になります。

3. キースイッチ優先回路の確認

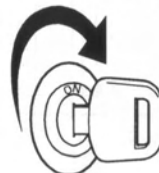
1 ATシフトレバーをパーキング [P] にして、パーキングブレーキをかけます。



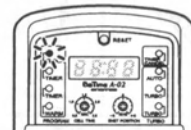
2 リモコンでエンジンを始動します。



3 ディスプレイのカウントダウンを確認後、イグニッションキーをONまで回します。



4 ディスプレイが、カウントダウンからプログラム表示に切り替われば正常です。



※プログラム表示とは、以下のモード表示になります。

(クロックモード、タイマー予約モードⅠ・Ⅱ、ウォームモード)

※START まで回すと、セルが引きずりますので必ずONの位置で止めてください。

※4にて、ターボタイマー設定中はターボモードに切り替われば正常です。

設定について

■時計の設定方法

●時刻表示は24時間制です。

(例)「午後12時34分」に設定する場合。

<p>1 ATシフトレバーをパーキング(P)にして、パーキングブレーキをかけます。</p> 	<p>2 イグニッションキーでエンジンを始動します。</p> 	<p>3 操作部の電源がON状態が確認します。</p>  <p>(例)00:00表示になっている場合</p>	<p>4 PROGRAMスイッチを押し、表示をCLOCKに合わせます。</p> 
<p>5 SETスイッチを押します。</p> 	<p>6 HUR/MIN/SECスイッチを押し、「時の桁」を点滅させます。</p> 	<p>7 UPまたはDOWNスイッチを押し、「12」に合わせます。</p> 	
<p>8 HUR/MIN/SECスイッチを押し、「分の桁」を点滅させます。</p> 	<p>9 UPまたはDOWNスイッチを押し、「34」に合わせます。</p> 	<p>10 SETスイッチを押し、点灯に変われば終了です。</p> 	

■タイマー予約の設定方法

●時刻表示は24時間制です。

●1日に2つの時間をタイマー予約できます。

(例)「午前7時30分」に設定する場合。

<p>1 ATシフトレバーをパーキング(P)にして、パーキングブレーキをかけます。</p> 	<p>2 イグニッションキーでエンジンを始動します。</p> 	<p>3 操作部の電源がON状態が確認します。</p>  <p>(例)00:00表示になっている場合</p>	<p>4 PROGRAMスイッチを押し、表示をTIMERに合わせます。</p> 
<p>5 SETスイッチを押します。</p> 	<p>6 HUR/MIN/SECスイッチを押し、「時の桁」を点滅させます。</p> 	<p>7 UPまたはDOWNスイッチを押し、「7」に合わせます。</p> 	
<p>8 HUR/MIN/SECスイッチを押し、「分の桁」を点滅させます。</p> 	<p>9 UPまたはDOWNスイッチを押し、「30」に合わせます。</p> 	<p>10 SETスイッチを押し、点灯に変われば終了です。</p> 	



注意

- 「午前12時」(ディスプレイ表示「00:00」)には予約できません。
- タイマー機能を使用しない場合は、下記の状態にしてください。
- ・ディスプレイ表示を「00:00」にする。
- ・TIMER CANCELスイッチを押し、LED(赤)を点灯状態にする。



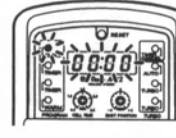
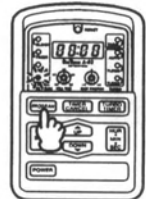
※解除した場合は、TIMER CANCELスイッチを再度押すと、LED(赤)が消灯し解除になります。

設定について


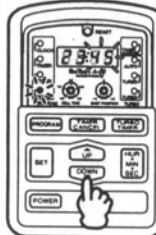
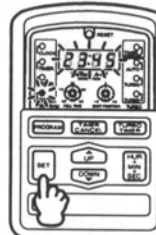
■アイドリング時間の設定方法

- アイドリング時間の初期設定は15分です。
- アイドリング時間は、0～59分59秒まで設定できます。

(例)「23分45秒」に設定する場合。

<p>1 ATシフトレバーをパーキング [P] にして、パーキングブレーキをかけます。</p> 	<p>2 イグニッションキーでエンジンを始動します。</p> 	<p>3 操作部の電源がON状態が確認します。</p>  <p>(例)00:00表示になっている場合</p>	<p>4 PROGRAM スイッチを押し、表示をWARMに合わせます。</p> 
--	--	---	---


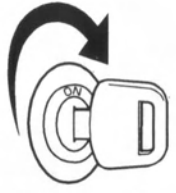

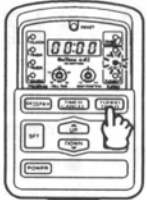
<p>5 SET スイッチを押します。</p> 	<p>6 HUR/MIN/SEC スイッチを押し、“分の桁”を点滅させます。</p> 	<p>7 UPまたはDOWNスイッチを押し、“23”に合わせます。</p> 
---	--	---

<p>8 HUR/MIN/SEC スイッチを押し、“秒の桁”を点滅させます。</p> 	<p>9 UPまたはDOWNスイッチを押し、“45”に合わせます。</p> 	<p>10 SET スイッチを押し、点灯に変われば終了です。</p> 
--	---	--

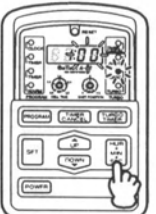
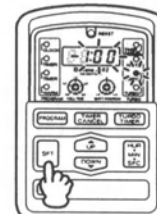
■ターボタイマー (マニュアルモード) の設定方法

- 2つのアフターアイドリング時間を設定できます。
- アイドリング時間は、0～59分59秒まで設定できます。

(例)「1分」に設定する場合。

<p>1 ATシフトレバーをパーキング [P] にして、パーキングブレーキをかけます。</p> 	<p>2 イグニッションキーでエンジンを始動します。</p> 	<p>3 操作部の電源がON状態が確認します。</p>  <p>(例)00:00表示になっている場合</p>	<p>4 TURBO TIMER スイッチを押し、表示をTURBO に合わせます。</p> 
---	--	---	---

<p>5 SET スイッチを押します。</p> 	<p>6 HUR/MIN/SEC スイッチを押し、“分の桁”を点滅させます。</p> 	<p>7 UPまたはDOWNスイッチを押し、“1”に合わせます。</p> 
---	--	--

<p>8 HUR/MIN/SEC スイッチを押し、“秒の桁”を点滅させます。</p> 	<p>9 UPまたはDOWNスイッチを押し、“00”に合わせます。</p> 	<p>10 SET スイッチを押し、点灯に変われば終了です。</p> 
---	--	---



注意

- カウントダウン中にエンジンを停止するにはリモコン操作にて停止するか、操作部の電源をOFFにしてください。
- ターボタイマーを使用しない時はPROGRAMスイッチを押し、LED表示をプログラムモードにしてください。

- カウントダウン中に走行する時はイグニッションキーをONの位置まで回し、フットブレーキを踏みATシフトレバーを移動してください。

オートターボタイマーについて

■オートターボタイマーとは？

走行時のエンジン回転（オルタネータの回転数）による信号をL端子又は電源から検出し、10秒に1回そのデータをカウントして合計60回分のデータでターボタイマーの時間を設定します。したがって走行状態によってカウントが変化し、最適なアイドル時間を表示します。

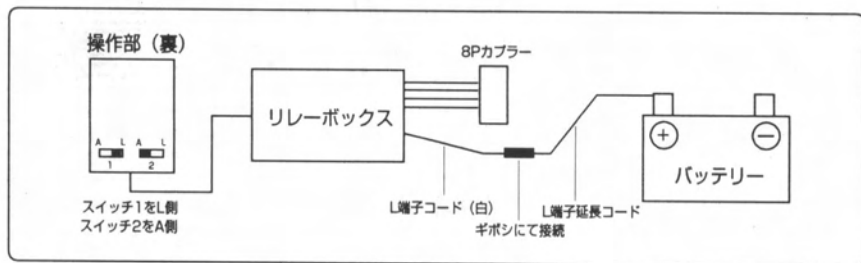
⚠ 注意

下記の場合、正常に作動しないことがあります。

- 消費電力が大幅に変わった時（ライト・熱線など）
- モーターの回転に変化があった時
（オートエアコン・デュアルエアコン・ワイパー・電動ファンなど）

⚠ 注意

- 「定数の変更」を行っても、まだカウントが上がり過ぎたり、上がらない場合は「バッテリー(+)配線の接続」を行ってください。



■設定方法と確認

<p>1 ATシフトレバーをパーキング [P] にして、パーキングブレーキをかけます。</p> 	<p>2 イグニッションキーでエンジンを始動します。</p> 	<p>3 エアコンやその他の電装品をOFFにしてください。</p> 	<p>4 操作部の電源がON状態か確認します。</p> 
<p>5 TURBO TIMER スイッチを押し、表示をAUTOに合わせます。</p> 	<p>6 30秒以上アイドル状態にします。</p>  <p>30秒以上</p>	<p>7 アクセルを踏み、2000回転を保ち1回分のカウントが1~4秒上がれば正常です。</p>  <p>2000 RPM アクセル タコメーター</p>	
<p>8 エアコンやその他の電装品をONにしてください。</p> 	<p>9 アクセルを踏み、2000回転を保ち1回分のカウントが1~4秒上がれば正常です。</p>  <p>2000 RPM アクセル タコメーター</p>	<p>10 アイドリング状態にして、カウントが「10秒毎に1秒」下がれば正常です。</p>  <p>19...18... (例)20秒カウント表示の場合</p>	

⚠ 注意 **7** **9** でカウントが上がり過ぎたり、上がらない場合、又は **10** でカウントが下がらない場合は「定数の変更」を行ってください。

オートターボタイマーについて

■定数の変更方法

●オートターボタイマーのカウン特的上がり方を調整することができます。

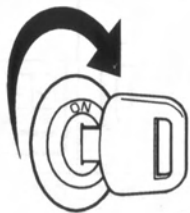
カウントを多めに上げたい場合の定数……………< 1~5 >

カウントを少なめに上げたい場合の定数……………< -1~-5 >

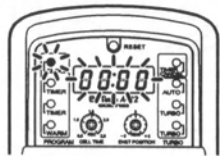
1 ATシフトレバーをパーキング
Pにして、パーキングブ
レーキをかけます。



2 イグニッションキーでエンジ
ンを始動します。

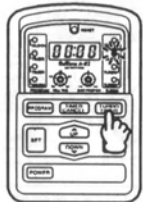


3 操作部の電源がON状態が確
認します。



(例)00:00表示になっている場合

4 TURBO TIMER スイッチ
を押し、表示をAUTOに合
わせませ。

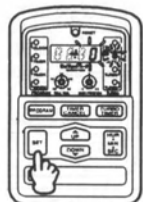


5 30秒以上アイドリング状
態にします。



30秒以上

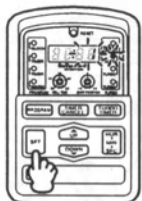
6 SETスイッチを押します。



7 UPまたはDOWNスイッチ
を押し、定数を入力します。

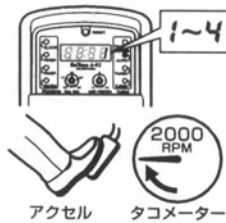


8 SET スイッチを押します。



(例)カウントを1に
設定した場合

9 アクセルを踏み、2000回
転を保ち1回分のカウン
ト数が変われば終了です。

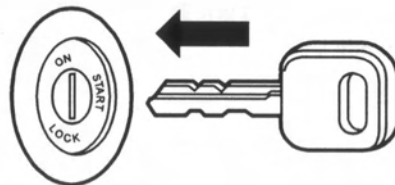


アクセル タコメーター

運転するときは

リモコンでエンジンを始動した際は、下記の操作を行ってください。

1 イグニッションキーを差し込みます。



2 イグニッションキーをONまで回します。



※フットブレーキ配線時は、ブレーキを踏まずに操作してください。
※イグニッションキーをSTARTまで回すと、セルモーターが故障する
恐れがありますので必ずONで止めてください。

通常に運転できます。

⚠ 注意 「定数の変更」を行っても、まだカウントが上がり過ぎたり、上がらない場合は「バッテリー (+)配線の接続」を行ってください。(19頁参照)

故障かな？と思ったら

症状	確認内容	対処方法
リセットスイッチを押しても「88:88」が点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ・アース端子は適切な場所に取付けしてありますか？ ・専用ハーネスは車に適合していますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・確実にボディアースがとれる場所に取付けてください ・適合した専用ハーネスをご使用ください
リモコンでエンジンが始動しない ※セルを回さない場合	<ul style="list-style-type: none"> ・専用ハーネスは車に適合していますか？ ・専用ハーネスは確実に接続されていますか？ ・ATシフトレバーがパーキング [P] になっていますか？ ・ディスプレイが「Err-」表示になっていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・適合した専用ハーネスをご使用ください ・接続方法に従い、確実に接続してください ・パーキング [P] に確実に入っているか確認してください ・フットブレーキ配線の接続をしてください
リモコンでエンジンが始動しない ※セルを回す場合	<ul style="list-style-type: none"> ・専用ハーネスは車に適合していますか？ ・専用ハーネスは確実に接続されていますか？ ・L端子配線の接続はしてありますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・適合した専用ハーネスをご使用ください ・接続方法に従い、確実に接続してください ・L端子配線の接続をしてください
リモコンでエンジンが始動しない ※L端子配線の接続をしてある場合	<ul style="list-style-type: none"> ・エレクトロタップ及びギボシ端子は接続されていますか？ ・車側のL端子検出線が間違っていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・確実に接続してください ・L端子の基準電圧を確認してください <p>※取付け・接続説明書の「L端子配線の接続方法」参照</p>

症状	確認内容	対処方法
リモコン操作でLEDが点滅/点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ・電池が消耗していませんか？ ・電池が正しく入っていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい電池に交換してください ・電池を正しく入れてください
リモコン操作でセルが回る時間が短い。または長い	<ul style="list-style-type: none"> ・セルタイムボリュームは適切な位置になっていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・セルタイムボリュームで調整してください
リモコン操作できる距離が短い	<ul style="list-style-type: none"> ・アンテナジャックが抜けていませんか？ ・リモコンの電池が消耗していませんか？ ・アース端子は適切な場所に取付けしてありますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・確実に差し込んでください ・新しい電池に交換してください ・確実にボディアースがとれる場所に取付けてください
オートターボタイマーが正常に作動しない ※(1)~(3)の順に確認して下さい	<ul style="list-style-type: none"> (1) エンストポジションボリュームは適切な位置になっていますか？ (2) 定数の変更はしましたか？ (3) バッテリー(+)配線の接続はしてありますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・エンストポジションボリュームで調整してください ・定数の変更をしてください ・バッテリー(+)配線の接続をしてエンストポジションボリュームを調整してください
ターボタイマーが作動しない	<ul style="list-style-type: none"> ・フットブレーキ配線時、ブレーキを踏みながらキーを抜いていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレーキから足を放してキーを抜いてください

■「故障かな？と思ったら」に従って点検/確認を行っても、なお異常がある場合は取付け販売店、または当社サービス部へお問い合わせください。

株式会社 コムテック サービス部 TEL (05613) 6-5654

「取付け・接続説明書」「取扱説明書」にしたがって、正常な取付け・接続・使用状態で製品に故障が生じた場合は、「保証書」の保証規定にしたがって修理いたします。ただし、上記以外の取付け・接続・使用状態による車の故障や事故などの付随的傷害・損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

BeTime A-02

取付け・接続説明書

はじめにこの取付け・接続説明書をすべてお読みになり、内容と手順をよくご理解いただいてから取付け作業を始めてください。

BeTime

株式会社コムテック

愛知県西加茂郡三好町筋生下石田60番地
サービス部 TEL05613-6-5654

●取付け前の注意



危険

ビータイムは取付けや使用方法を誤ると事故や火災を招く恐れがあります。取付け・接続説明書の注意をよく読み、理解してから取付けてください。

- ビータイムは、ビータイム車種別専用ハーネス以外で取付けると、コードの容量不足や接続不良などによって事故や火災の原因となり危険です。必ず別売のビータイム車種別専用ハーネスで取付けてください。
- 日産AT車は、ターボタイマースタート時にイグニッションキーが抜けなくなる車種があります。イグニッションキーが抜けなくなる車種には別売のキーロックリレーアダプターが必要です。詳しくは、ビータイム専用ハーネス車種別適合表をご覧ください。ただか、当社サービス部へお問い合わせください。
- ターボタイマー（スターターを含む）や盗難防止機との併用取付けはできません。



危険

ビータイムは国産12VのAT車で、イグニッションキーのみでエンジンを始動することができる車に取付けできます。したがって、下記の車種にはビータイムを取付けないでください。

- エンジン始動直後、チャージランプが消えない車。
(特に、寒い朝等エンジンが冷えている時に発生しやすい車。)
- 24V車（寒冷地仕様などでバッテリーが2個付いている12V車は取付けできます。)
- マニュアルミッション車
- エンジン始動の際にアクセルペダルの操作を必要とする車
- 輸入車



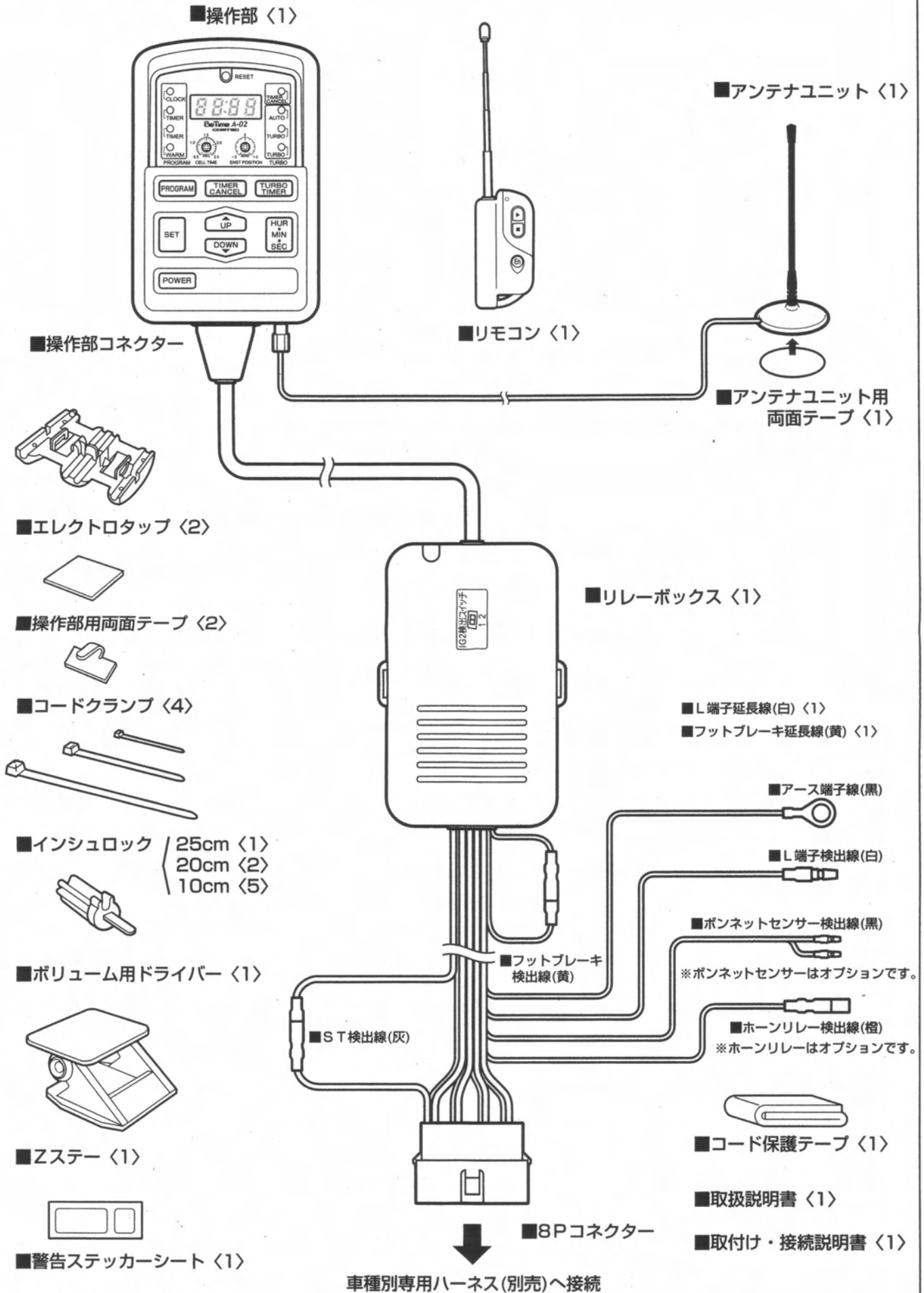
注意

下記装置はビータイムを装着すると、正常に働かなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- キーレスエントリーシステムまたはワイヤレスドアロックシステム
(リモコンでエンジンを停止してから、リモコンドアロックをご使用ください)
- セキュリティシステム（盗難防止装置）
(セキュリティシステムをOFFにして本機をご使用ください。)
- オートポジションステアリング&シート
(乗車時、リモコンでエンジンを停止してからイグニッションキーでエンジンを始動してください。レジェンドDPS装着車は、取付け時に解除しなければならないため、Be-959をお買い求めください。)
- オートライトコントロールシステム
(降車時、オートライトスイッチをOFFにしてからイグニッションキーを抜いてください)

●基本接続図とセット内容

※ 〈 〉 内の数字は個数を表します。



● 取付け・接続について

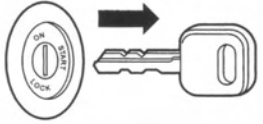
⚠ 取付け・接続の前に

安全に作業をしていただくため取付ける前に、次の3つのごとを必ず守ってください。

- 1 ATシフトレバーをパーキングPにします。
- 2 パーキングブレーキを確実にかけます。(フット式・サイド式)



- 3 イグニッションキーを抜きます。



・取付けに関して必要な工具

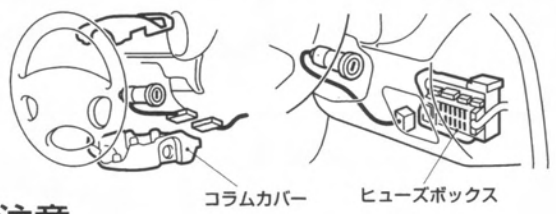
- 1 ドライバー(+)
- 2 プライヤー
- 3 ニッパー
- 4 ボックスレンチ (またはメガネレンチ、スパナ)
- 5 サーキットテスター (または検電テスター)

※車種により、その他の工具が必要な場合があります。

キー操作でのアイドル中に、操作部のパワースイッチをON又はOFFにすると、アイドルの回転数が低くなったり、エンジンが停止したりする車種が一部あります。このような場合は、オプションBe-961「リレー瞬断防止アダプター」を取り付けて下さい。

1. 車種別専用ハーネスの接続

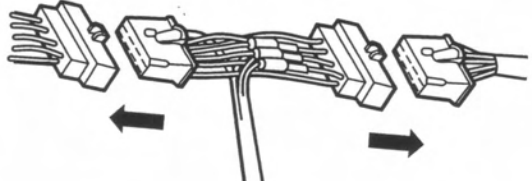
- 1 車のキーシリンダーから出ているコネクターを探す。



⚠ 注意

- コネクターの場所は、車種により異なります。
- ① キーシリンダー直付けタイプ
 - ② キーシリンダーから10cm~20cmの場所にあるタイプ
 - ③ ヒューズボックス、またはヒューズボックス付近にあるタイプ

- 2 車側のコネクターをはずし、はずしたコネクター間を専用ハーネスで接続する。



2. アース端子の取付け

- 1 リレーボックスから出ているアース端子(黒コード)を、塗装されていないボディまたはフレームのビスにしっかりと共締めします。



⚠ 注意

- ・テスター等で、確実にアースがとれているか確認してください。
- ・アース端子とフレームの間に樹脂、塗装等があると、確実なアースがとれません。
- ・不適切な場所へアース端子を取付けると、リモコンの飛距離が短くなったり、その他トラブルの原因になります。

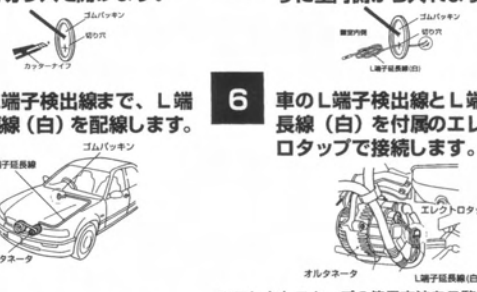
5. L端子配線の接続方法

リモコンスタートによるエンジン始動時、オルタネータのL端子信号により確実な始動判断を行なうことができます。

⚠ 注意

- ・L端子の基準電圧はイグニッションキーON時、エンジン始動前は“4V”以下、エンジン始動後は“6V”以上です。
- ・オルタネータのL端子配線をしないとエンジン始動できない車種があります。また、寒冷地ではオルタネータのL端子配線を接続し、バッテリーも大型のものに交換することをおすすめします。
- ・車のL端子検出線は、車内やオルタネータ以外の場所でもとれる場合があります。

- 1 ATシフトレバーをパーキングPにしてイグニッションキーを抜きます。
- 2 エンジンルームと室内の壁面にあるゴムパッキンなど、線が通る場所をさがします。
- 3 線が通るようにカッターナイフ等で切り穴を開けます。
- 4 L端子延長線(白)を窓のように室内側から入れます。
- 5 車のL端子検出線まで、L端子延長線(白)を配線します。
- 6 車のL端子検出線とL端子延長線(白)を付属のエレクトロタップで接続します。
- 7 リレーボックスから出ているL端子検出線(白)と、L端子延長線(白)を接続します。



※エレクトロタップの使用方法をご覧ください。リレーボックスから出ているL端子検出線(白)と、L端子延長線(白)を接続します。

6. アンテナユニットの取付け・配線

- 1 アンテナコードの端子を、操作部のアンテナジャックに差し込みます。
- 2 アンテナユニットをダッシュボード上に付属の両面テープでしっかりと固定します。



⚠ 注意

- ・アンテナユニットは、視界の妨げにならない場所に取付けてください。
- ・両面テープを貼る際は、あらかじめ汚れや脂分をよくふきとってから貼ってください。

7. 操作部とリレーボックスの接続

- 1 リレーボックスの操作部コネクターを操作部に接続します。

3. 専用ハーネスとリレーボックスの接続

1 専用ハーネスの8Pコネクタと、リレーボックスの8Pコネクタを接続します。



2 下記の図 ①・②・③から専用ハーネスの種類を確認して配線してください。

注意

- ・図②・③の仕様の場合は必ずギボシ端子が、しっかりと接続されているかどうか確認してください。接続不良を起こしますと、車種によっては下記のようなトラブルの原因となります。
- エアコンが正常に作動しない。
- ATシフトストップ回路（安全機能）が作動しない。
- アイドルリングが不安定になる。
- バッテリーが上がったり、オルタネーターが破損する。

① 黒コード1本の仕様

専用ハーネス 8Pコネクタ 灰色コード

専用ハーネス 8Pコネクタ 8Pケーブルをさし込むだけでOK

② 黒コードと灰色コードの仕様

専用ハーネス 専用ハーネス 灰色コード

専用ハーネス 8Pコネクタ 8Pケーブルをさし込み灰色コードのギボシをさし込む図のようにする

③ 黒コード2本の仕様

専用ハーネス 専用ハーネス 灰色コード

専用ハーネス 8Pコネクタ 8Pケーブルをさし込むように1本の黒コードをカットし、それぞれギボシをカットした灰色コードとタップで止める

3 リレーボックスのIG2検出スイッチを下記のようにしてください。

- 専用ハーネスに青線、青/白線がない場合 1にします。
- 専用ハーネスに青線、青/白線がある場合（テスターが必要です）テスターを8Pコネクタの青線の端子部にて、イグニッションキーをSTARTまで回し、「セルが回っている時の電圧」を調べます。

0v 12v

(1) 電圧がある場合…1にします。

(2) 電圧がない場合…2にします。

4. フットブレーキ配線の接続方法

注意

- ・下記に該当する車種で、フットブレーキ配線を行なわなかった場合、車の誤動作を招く恐れがありますので、必ずフットブレーキ配線を行なってください。
- トヨタ RV車、ワンボックス車、ディーゼル車、オートエアコン装着車
- 日産 全車（ディーゼル車含む）※但し、Y33系のシーマ、セドリック、グロリアのボイスナビゲーション（パードビュー）装着車は、パーキングブレーキ（ブレーキをかけた状態で“0V”、解除した状態で“12V”）配線を行なってください。
- 三菱 デリカ（スペースギア・スターワゴン）、GDI搭載車
- ホンダ レジェンド
- ビータムでエンジン始動した時にセルが回り続ける車種
- エアバックなどの警告ランプが点灯する車種
- スターター作動時のアイドルリング中、又はターボタイマー作動時のアフターアイドルリング中に、ATシフトレバーをパーキング（P）から移動した場合エンジンがとまらない車種
- ATシフトレバーがパーキング（P）の位置で、リモコンスタート時に操作部のディスプレイがエラー表示をしてしまい、エンジンが始動できない車種

1 リレーボックスのフットブレーキ検出線（黄）と黒コードのギボシ端子をはずします。

■リレーボックス

3 付属のフットブレーキ延長線（黄）とフットブレーキ検出線（黄）のギボシ端子を接続します。

2 フットブレーキを踏まない状態で“0V”、踏んだ状態で“12V”の線にフットブレーキ延長線（黄）をエレクトロタップで接続します。

※エレクトロタップの使用法をご覧ください。

8. 操作部の取り付け

操作部の固定及び配線処理をする前に、本機が正常に動作するかリモコンで※1 IDコードの入力を行い、各機能の※2 動作確認を行ってください。

- ※1 取扱説明書の「IDコードの入力方法」を参照してください。
- ※2 取扱説明書の「確認について」を参照してください。

注意

- ・以下のような場所への取付は避けてください。
- エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- 直射日光の当たる場所。
- 不安定な場所。

1 運転の妨げとならない場所に、付属のZステー、両面テープでしっかりと固定します。

9. 配線処理について

注意

誤った配線処理を行なうと、後に本機の不具合や事故の原因となり危険です。したがって以下の項目は必ず行なってください。

- コード類は、余分な長さがあればインシュロック（10cm）で結束してください。
- アンダーカバー内へ収納する際、車の金属部（コラムシフトレバーの付け根、ステアリング可動部、ペダルのスプリング、その他鉄板等）に専用ハーネスやコード類が接触する場合は、その部分に必ずコード保護テープを貼ってください。



- アンテナユニットのコードは、コードクランプに挟んで固定してください。



10. 「警告ステッカー」について

本機を取付けた車を第三者が使用及び整備する場合、安全にお使いいただくため付属の「警告ステッカー」を必ず貼り付けてください。

- 警告ステッカー（大）の貼り付け：ボンネット（ワンボックス車の場合エンジンルームカバー）を開けた時、エンジンの熱を直接受けにくい立つ場所に貼り付けます。
- 警告ステッカー（小）の貼り付け：ボンネットオープナー（ワンボックス車の場合エンジンカバーフック）付近に貼り付けます。



エレクトロタップの使用法

1 タップを図のように見えます。

2 ストッパー付コード溝に本機のコードを挟みます。

3 プライヤー等でロックします。

4 ストッパー無しコード溝に車側のコードを挟みます。

5 プライヤー等でロックします。

6 絶縁テープを巻きます。